



# 与野本町小だより

～かしこい子 心ゆたかな子 たくましい子 助け合う子～  
ニコニコ・しっかり・美しく（本町の心）

3月号

令和8年2月27日

さいたま市立与野本町小学校

## 素敵に大人に

校長 小野圭司

2月には、保護者の皆様や地域の皆様と話し合う機会が何度かありました。どの場面でも、皆様が本校の子どもたちのために、それぞれの立場から、そして「自分ごと」として真剣に課題に向き合ってくださいていることに、心から感謝を申し上げます。

例えば、2月13日（金）に開催された第3回学校運営協議会では、教職員を気遣う温かいお言葉をいただきました。「教職員が笑顔で楽しく働ける環境が、子どもたちの安心や成長にもつながるのではないか」とのご意見でした。学校運営協議会は年3回開催されており、毎回、グループや全体での熟議を重ねています。その積み重ねが、委員の皆様との信頼関係を築き、良い距離感を生んでいるのだと感じています。私自身も、学校の課題をできる限り率直にお伝えし、委員の皆様も真摯に受け止めてくださり、建設的なご意見をいただいています。やはり、繰り返し対話を重ねることが、心の距離を縮めるのだと実感しています。

また、2月16日（月）にはPTA理事会にも出席しました。昨年度までは地域交流室で長机を口の字に並べた、いわゆる会議形式でしたが、今年度からはPTA会議室で肩を寄せ合うような距離感で話し合いが行われています。このスタイルがとても心地よく、膝を突き合わせて話すことで相手の表情を見ながら意見を交わし、皆が納得するまでとことん話し合う様子が見られました。

さらに同日、開校155周年（現在地移転100周年）記念事業の第3回実行委員会も開催されました。総務部、事業部、記念誌部に分かれての協議では、各部が丸くなったり、机を合わせたりして、実行委員の皆様との距離がぐっと縮まっていくのを感じました。部長を中心に計画が着実に立てられ、形になりつつある今、皆様が充実感をもって取り組んでくださっていることが伝わってきました。

私は、子どもたちにもこのような大人になってほしいと願っています。目的をもって集まり、互いの考えを尊重しながら、適度な距離感で意見を交わす姿は、まさに「素敵に大人」の姿です。自分のこととして課題に向き合い、他者と協力しながらよりよい方向を探る姿勢は、子どもたちにこそ伝えたい大切なことです。

学校は、子どもたちの学びの場であると同時に、大人も共に育ち合う場です。これからも、子どもたちの未来のために、保護者の皆様や地域の皆様と力を合わせ、温かなつながりの中で、様々な教育活動を進めてまいります。